

総務企画 委員会

重点調査項目

- 協働のまちづくりを目指して
行政視察 1. 仙台市^{かぎとり}鉤取ニュータウン町内会
2. 上越市地域自治区

鉤取町内会自主防災組織

町内人口132世帯、415人、面積4.5haの住宅市街地である。2004年4月に自主防災組織を立ち上げ、平成17年9月第一回全国防災まちづくりフォーラムの活動発表で審査員特別賞を受賞した。「自分達のまちは自分達で守る」の精神が市民に浸透しており、統制のとれた自主防災組織である。

動

大震災の折には災害時家族全員が無事の場合には玄関先に「黄色い旗」を出すとの取り決めがあり（2006年より）、そのことが今回の震災に威力を発揮して、30分程度で町内の全世帯の安否確認ができた。

被災30分後には、災害対策本部を立ち上げ、安否確認後直ちに避難者（83名）の受け入れを公民館で行った。

た。

午後6時に自家発電機運転を開始し、テレビで情報収集を行う。ストーブ、水、食糧、台所用品、座布団、毛布、車椅子、担架、懐中電灯、スピーカーなど公民館に備えてあるもので避難者の対応をし、家庭に電気が通電された13日午後避難者を自宅待機に切り替えた。日頃の防災意識と訓練の効果が発揮され、迅速な対応が行われた。



町内会の備蓄倉庫

○組織の活動内容

- ①防災倉庫の設置、②災害弱者住居マップの作成、③地域での交流会の実施、④「出さないくん」シンボルづく

総務企画委員会の議案審査報告

今定例会では総務企画委員会に条例案件4件が付託になりました。内容は次のとおりです。

議第59号 高山市防災会議条例及び高山市災害対策本部条例の一部を改正する条例については、法の改正等に伴い改正するもので、防災会議の委員のメンバー25名以内の中に、自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから市長が委嘱することとなります。

議第63号 高山市地区公民館及び集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、不要となった丹生川町の日面集会所を廃止するものです。

議第65号 高山市火災予防条例の一部を改正する条例については、省令の改正に伴い改正するもので、急速充電設備が火災予防条例の適用となりました。

議第75号 高山市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、職員における3件の不祥事の責任を取って市長の給料を10%、3ヶ月間減額するものです。

総務企画委員会ではそれぞれ慎重に審査し決定いたしました。

上越市の自治区制度

平成17年1月近隣に13町村と合併し同時に

り、⑤町内会だより「ひまわり」の発行、⑥訓練及び研修会、講習会の開催、⑦若者、特に中学生に参加を呼びかけるなど町内会長を中心に住民一丸となって防災まちづくりを行っている。

旧町村を合併特例制度で13の自治区とした。その4年後の平成21年10月に旧上越市も15の自治区とし合計28の自治区となつて住民自治の充実と自主自立のまちづくりが進められている。

う自治法に基づく制度で進められている。地域協議会は市長の付属機関とし、諮問にこたえると共に地域の意見を市長に届けることや自主的なまちづくりを行っている。協議会の委員定数は28自治区で416名である。

各自治区には「地域協議会」が設置され、区域内の事務を行う「事務所」を置くとい